

 天空の國 野迫川村

広報のせがわ

12
2019 Dec.
Vol.500



小・中合同マラソン大会

高市早苗総務大臣表敬訪問

令和元年11月6日（水）、野迫川村長と野迫川村議会が総務省大臣室で高市早苗総務大臣に表敬訪問を行いました。

村は、人口減少や少子高齢化が進む中で生活を支える地域サービスを持続していくために来年度予算の確保に向けた活動を行い、角谷村長は、村存続の財源となる地方交付税増額の予算措置についてお願いし、今後の財政状況について意見を述べました。

大臣から地方の地方自治体においても安定的な財政運営ができるよう、必要な一般財源を確保するよう努めてまいりますと意見を頂きました。



野迫川村文化功労者表彰

毎年、文化の日に村政発展に貢献された方々を表彰しております。「文化功労者表彰」について、本年は中地区の冨家フエ子さんが受賞されました。

冨家さんは、昭和62年から24年にわたり野迫川村社会教育委員を務められ、村及び教育行政のために尽力されました。



野迫川村遺族会 奈良県護国神社参拝

令和元年11月12日（火）、野迫川村遺族会の改元記念行事として、奈良県護国神社へ参拝しました。当日は天候にも恵まれ、会員13名がそれぞれ玉串奉奠を行い、本村出身戦没者のご冥福を祈りました。



元野迫川村消防団長 津守 良直氏 瑞宝双光章受章

秋の叙勲で上地区の津守良直氏（76歳）が瑞宝双光章を受章されました。

津守氏は、昭和37年に野迫川村消防団に入団後、永きにわたり活躍され、平成20年からは10年間、団長を務められました。消防施設の充実と防災体制の強化・拡充を図るとともに、火災予防思想の普及に貢献されました。こうした功績により、今回の受章の運びとなりました。



郷土料理研究会研修

郷土料理研究会では、11月15日（金）、16日（土）に京都府宮津市、舞鶴市方面で県外研修を行いました。地元の方に教わりながら、丹後ばら寿司体験として、重箱に酢飯を詰めた後、卵やニンジン、シイタケ、青菜等を盛り付け、丹後地方の郷土料理の調理実習をし、刺身や汁物と一緒に地域の料理を味わいました。

実習の後には、天橋立や伊根湾、舞鶴市立赤レンガ博物館を見学し、会の親睦を深めるなど充実した研修となりました。



総合型地域スポーツクラブからのお知らせ

教室名	1月	2月
フットサル教室 (小学校体育館)	22日(水)	19日(水)

初めての方でも大歓迎です。皆様ご近所お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。上記の予定は変更になることがあります。ご了承ください。

(問合せ) 野迫川村総合型地域スポーツクラブ事務局(野迫川村教育委員会内)

☎0747-37-2101

第8回野迫川小中合同マラソン大会

11月14日(木)に小中合同マラソン大会を開催しました。朝から少し雨が降っていましたが、開催前には天気は回復し、予定通り旧中学校を11時05分に一齐にスタートしました。体力的にきつい場面でも約1ヶ月の練習を生かして精一杯走り、多くの方の声援を受けてさらに頑張る走りしました。寒い中でしたが、多くの方が小旗を振ったり、「がんばれー」と声かけをするなど、たくさんの応援を受け、全員無事に完走することができ、中には自己の記録を更新した子もいました。マラソン大会にご協力いただいた皆様、寒い中応援いただいた皆様、本当にありがとうございました。



除雪作業にご協力ください!

雪の季節になりました。

本年度も除雪作業を行いますが、家の周りの雪かき等住民の方々のご協力をお願いします。



凍結事故に注意!!

凍結・積雪の季節となりました。路面の凍結等に充分注意し、普段よりも減速して走行するようにしてください。

スタッドレスタイヤやタイヤチェーンの不装備による事故が発生していますので、滑り止め対策をして事故のないよう心がけてください。

野迫川中学校 校外学習

11月1日(金)、中学校の校外学習で、2年生と3年生が合同で「天王寺動物園」へ行ってきました。今回の校外学習では、自分たちで計画を立てて、現地までの乗車や目的地までの移動を体験することを大きな目的にしていました。

まず、南海電車を使って新今宮駅まで乗車しました。駅を降りてからは自分たちで目的地まで行かなければなりません。駅の改札を無事に通り抜けて、一歩外に出たとたん、方向がわからなくなってしまいました。5分ほど右往左往しながらも、あべのハルカスの高いビルを目印にして前に進むことができ、天王寺動物園までの移動に成功しました。

動物園では、カバの愛嬌のある泳ぎ方に楽しんだり、キリンの大きさと迫力に「うわ〜」と声を上げたりしながら、園内での数々の写真撮影を達成することができました。

お弁当の後、待ちに待ったもぐもぐタイム(おやつタイム)で持ってきたおやつをお互いに交換しながら、もぐもぐタイムを楽しみました。

帰りは天王寺駅からJRに乗り、スムーズに南海電車に乗り換えて高野山駅まで戻ってきました。出発は緊張感をもった始まりでしたが、ふだん、なかなかできない体験ができ、充実した1日になりました。



野迫川小学校 秋の社会見学

◎1・2年生 「飛鳥から近鉄電車 乗車体験と天王寺動物園見学」

◎5・6年生 「キトラ古墳公園で古代ガラスづくり体験と橿原こども科学館見学」

11月8日(金)は秋晴れのもと、絶好の社会見学日和でした。野迫川小学校を村のバスで出発し近鉄飛鳥駅へ、ここから1・2年生は近鉄電車で天王寺動物園へ、5・6年生はバスでキトラ古墳へ向かいました。1・2年生は、まず自分で切符を買い自動改札機を通る体験をしました。特急さくらライナーの最前列に乗車し、運転士さんの動きや、流れる前方の展望を見つめているうちに大阪阿倍野橋に到着。大きな駅や地下街などを通り抜け天王寺動物園まで歩きました。また自分で切符を買って入園。ヒツジ、ヤギ、トラ、ライオン、ペンギン、コンドル、カバ、シロクマなどたくさんの動物を見て回り、特にコウモリやキリンやオオカミのエサやりを、それぞれ目の前で見学し、大迫力の感動がありました。

5・6年生は、キトラ古墳公園で古代ガラスづくり体験に取り組みました。説明を聞いた後、七輪に炭を入れうちわで扇いで火起こし。さらにふいごで風を吹き込んでガラスを溶かし、二人で引っ張ってアメのようにガラスをのばして切ります。糸を編んで紐をつくり、切ったガラスを通してアクセサリーをつくりました。午後は橿原こども科学館を見学しました。館内は自分で見たり聞いたりさわったりする体験コーナーがたくさんあり、自分でやってみて科学の世界を満喫しました。その後、飛鳥駅で再び合流し、バスの中でお互いの体験等を話しながら野迫川へ戻りました。



公的年金等の源泉徴収票の送付について

日本年金機構から、1月から12月までに老齢年金（厚生年金保険、国民年金等の老齢または退職を支給事由とする年金）を受けとられた方に、支払われた年金の金額や源泉徴収された所得税額等をお知らせする『公的年金等の源泉徴収票』が送付されます。

源泉徴収票は、所得税および復興特別所得税の確定申告（住所地を管轄する税務署で受付）の際の添付書類等として必要となりますので大切に保管してください。

1月中旬から下旬にかけて、日本年金機構から順次全国の年金受給者へ発送されます。

源泉徴収票は再交付が可能です。

=お電話での申込= お手元に届くまでに2週間程度かかります。

日本年金機構ねんきんダイヤル「0570-05-1165」へお問い合わせください。

- ・ご本人のマイナンバーもしくは基礎年金番号
- ・ご本人の氏名、生年月日、住所
- ・電話をおかけになった方の氏名
- ・ご本人との続柄
- ・電話番号を確認します。

※送付先は、日本年金機構に登録されているご本人の住所宛になります。

=年金事務所での申込=

大和高田年金事務所へお越し下さい。窓口にて下記書類を確認します。

【ご本人】

- ・マイナンバーカードもしくは年金手帳
- ・年金証書または改定通知書など、日本年金機構が送付した書類
- ・本人確認が出来る書類（運転免許証など）

【ご本人以外の方】

- ・ご本人のマイナンバーカードもしくは年金手帳
- ・年金証書または改定通知書など、日本年金機構が送付した書類
- ・ご本人の委任状
- ・代理人の本人確認が出来る書類（運転免許証など）
- ・ご本人の印鑑

年末年始野迫川村役場閉庁及び 野迫川村国民健康保険診療所休診のお知らせ

閉庁及び休診期間

令和元年12月28日（土）～

令和2年1月5日（日）まで

※急なお問い合わせは、宿日直者が対応しますので、役場（0747-37-2101）まで連絡ください。

村制130周年記念映像放映の お知らせ

野迫川チャンネル（11チャンネル）において、村制施行130周年を記念して制作しました映像を、午後1時及び午後7時から毎日放映しております。

記念映像は、これまでの村の歴史を振り返る「130年のあゆみ」、そして現在の野迫川村をPRする「プロモーション映像」の2本立てとなっておりますので、ぜひご覧ください。

なお、記念映像は、村のホームページからもご覧いただくことができます。

てんいち先生



プレミアム付商品券の 購入引換券交付申請を 受け付けています

10月の消費税率10%への引き上げに伴い、消費に与える影響を緩和することを目的として、プレミアム付商品券を販売しています。

対象者には申請書を郵送していますので、希望される方は忘れずに申請してください。

詳しくは、村ホームページをご覧ください。役場産業課までお問い合わせ下さい。

申請期間 令和2年1月31日(金)まで
(郵送の場合は消印有効)

販売期間 10月1日(火)～令和2年2月14日(金)

使用期間 10月1日(火)～令和2年2月29日(土)

問い合わせ先 野迫川村役場 産業課 37-2101

村営バス年末年始運休のお知らせ

村営バス運休期間

令和元年12月28日(土)～
令和2年1月5日(日)まで

日頃は村営バスをご利用いただき、ありがとうございます。
上記期間、村営バスは運休いたしますのでご了承下さい。

野迫川村産業課 TEL: 0747-37-2101

のせ川歌壇

時雨ゆく

川原樋川の清流に

鶴姫の恋のせて流るる

中西 章

青空を

若やかな顔で手を振られ

令和の御代を穏やかなれと

西前 睦代

謎多き

浮餌を一度に飲み込みて

悠然と噛む錦鯉太し

中田 敬子

吾老いし

冬を迎えるこの不安

雪掻き仕事山へも行けず

吉野 武文

友逝きて

呼べど答へずああ悲し

もう一度元気な声の聴きたし

西本 良子

椿の実

やっと拾いてみつめおれば

歴史をふかくとどめておりぬ

孤山

第63回奈良県へき地教育研究振興大会開催

10月25日（金）に第63回奈良県へき地教育研究振興大会野迫川村・十津川村大会が野迫川村で開催されました。

この大会は、「ふるさとに夢や誇りをもち、未来を担う子どもを育てる教育の実践について研究するとともに、へき地が直面する教育上の諸課題について研究協議し、へき地教育の振興と充実を図る」ことを目的としています。

前日の激しい雨で、開催が危ぶまれましたが、無事、開催することができました。

大会当日、午前中は、野迫川小・中学校、野迫川小・中学校PTAが2つの分科会で研究実践を報告しました。午後からは、全体会と笑福亭竹林氏の記念講演がありました。

県下より多数の先生方に参加していただき、野迫川村で、元気に頑張る児童・生徒の様子や教職員、PTAの取組に対し熱のこもった意見交換がなされました。

参加された方から次のような感想をいただきました。



人数が少ないのにすごい熱量に驚きました。とてもよい勉強になりました。へき地校はハンディーでなく、子どもたちにきめ細かい教育ができるとても恵まれた環境だと思います。全ては子どもたちのために、活動の中でふと立ち止まり、子どもの声を聞き、こどもたちの黒子となり支えていけるように活動していきたいと思いました。

